

バイオマス・ニッポン総合戦略における目標達成状況

資料1-1

	目 標	平成18年度	平成19年度	平成20年度	今 後
バイオ燃料の利用促進	<p>【平成23年】 単年度5万KLの国産バイオ燃料生産</p> <p>【平成42年頃】 単年度600万KLの国産バイオ燃料生産 ※原料の収集・運搬に係る機器等の開発や資源作物の開発、変換効率の高いエタノール製造技術の開発なされ、未利用バイオマスを最大限活用した場合の農林水産省試算値。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 30KL ・バイオディーゼル燃料 5,000KL <p>・「国産バイオ燃料の大幅な生産拡大に向けた工程表」を総理報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 30KL ・バイオディーゼル燃料 5,000KL <p>・「バイオ燃料地域利用モデル実証事業」開始 バイオエタノール 3地区 バイオディーゼル燃料 13地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 90KL ・バイオディーゼル燃料 10,000KL <p>・「ソフトセルロース利活用技術確立事業」開始 バイオエタノール 3地区</p> <p>・「農林漁業バイオ燃料法」の成立 ・バイオ燃料関連税制の創設</p>	<p>【平成23年】 「バイオ燃料地域利用モデル実証事業」によるバイオ燃料生産量 バイオエタノール 3.1万KL バイオディーゼル燃料 1万KL</p> <p>※残り1万KLの生産量で目標達成</p>
バイオマスタウン構築の加速化	<p>【平成22年】 バイオマスタウン構想を全国300地区程度で策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度末 90地区 ・バイオマスタウンアドバイザーの育成 32名 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度末 136地区 ・バイオマスタウンアドバイザーの育成 64名 <p>・バイオマスタウン構想策定の手引きを作成し、全国に配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年3月末(予定) 197地区 ・バイオマスタウンアドバイザーの育成 100名 <p>・「全国バイオマスタウンサミット」の開催 ・「バイオマスタウン加速化戦略」の策定</p>	<p>【平成22年】 バイオマスタウン構想を全国300地区程度で策定を目指す</p> <p>※残り2年間で目標を達成するために、更なる加速化が必要 構想の実現が図られるよう支援する必要</p>
アジア等海外との連携	<p>日本におけるバイオマス利活用の成果の海外への普及等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワークショップ開催(日本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワークショップ開催(マレーシア) ・「バイオ燃料政策に関する国際シンポジウム」の開催(タイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワークショップ開催(中国) ・「東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及支援事業」開始(実施地区をタイ、ベトナムに決定) 	<p>【平成22年】 タイ、ベトナムにおけるモデル地域において現地研修や人的ネットワーク構築の実施によりバイオマスタウン構想策定</p>